

第5次岡崎市障がい者基本計画中間見直し・第7期岡崎市障がい福祉計画・第3期岡崎市障がい児福祉計画(案)の制定に対する意見と市の考え方

※いただいたご意見は趣旨を損なわない程度に要約しています。

No.	意見	市の考え方
全体		
1	障がい者サービスとしてある公共施設(建物、駐車場等)の利用料減免について、障害者が限定的となっており、障害者総合支援法に即していないため、早急な改善を望みます。具体的には、岡崎市の減免対象は、身体、精神、療育に限られ、難病は除外されている。書面を閲覧したところ、計画に盛り込まれていないため、計画に盛り込み、実現してください。	公共施設の利用料減免については、現在も関係各課でそれぞれ対応しておりますので、当課の計画は原案どおりとします。なお、利用料減免の対象者に、難病の方を加えてほしいという要望がありましたことは、関係各課に共有させていただきます。
2	2024年2月11日春日井市において白井博之クラウンの講演会が開催されます。白井先生は2016～2019年に岡崎市で市民クラウン講座を開講しています。それを受講したことで、個々のキャラクター(個性)を表現し、周りにもイヤな思いをさせない思考回路を教えてくださいました。是非、春日井市で開催されるようなことを岡崎でもやってほしいです。	当計画では、基本理念「思いやり つながりあって 自分らしく生きる都市(まち)岡崎」を継承し、障がい者施策の一層の推進を図っていきます。いただいた御意見は今後の施策の参考にさせていただきます。
3	第5章 計画の推進に向けて p109 (1)進捗の把握と分析・評価 (2)計画や方策の見直し 専門部会、障がい者団体の代表者の方は健常者で、障がい者、家族のニーズが反映されるか疑問。 障がい者同士の家族同士での集まり→情緒の安定・社会環境としての問題発見 少数派の意見を反映するには、当事者の集まりが必要	岡崎市障がい者自立支援協議会に委員として参加いただいている当事者団体の皆様は、障がい当事者の方やそのご家族が感じておられる課題やニーズなどを把握されており、協議会にて十分に協議していただいていると考えています。いただいた御意見は今後の施策の参考にさせていただきます。
第5次岡崎市障がい者基本計画中間見直し		
4	グループホームの人手不足により、入居できない問題が起こるかもしれません。解消策の1つとして、相手が発達障がいを持っていることを明らかにしたうえで、発達障がいの方々を支援するための婚活支援があるとよいかと思えます。	障がい者基本計画の基本目標Ⅲの施策25として、福祉フェアの開催や福祉の仕事のPR動画等による情報発信を行っています。引き続き、必要な取り組みを実施していきますので、いただいた御意見は今後の施策の参考にさせていただきます。
5	障がい者7団体にヒアリング調査の実施とありますが、p15をみると肢体不自由に近いで内部障害者の数が多いのですが内部障がい者ニーズの調査が少ないように感じます。	内部障がいのある方を含めた全市的なニーズ調査は、現行の障がい者基本計画を策定する際に「障がい福祉に関するアンケート調査」として実施しています。そのため、次期障がい者基本計画の策定の際には、同様に調査を実施し、広くニーズの把握に努めます。
6	家族の悲痛な叫び、負担が多すぎて、相談しても解決されない現状があることが問題。(送迎、家事、支援、孤独、働くことができない) 自分自身が内部障害者となり、病院への送迎、金銭的に自分一人では生活できていないと感じます、家族の支援がないと生きていくことすら難しいので支援する方々のニーズを活かして欲しいと切に思えます。	岡崎市障がい者自立支援協議会を通じて、引き続き、地域課題等を検討し、地域の実情やニーズに応じた障がい者等への支援体制の整備を図ります。いただいた御意見は今後の施策の参考にさせていただきます。
7	施策1 障がい者理解の啓発、理解 広報誌やホームページ、パンフレットで啓発とかかかれていますが、多くの方の目に留まらないと意味がないように感じます。特に子供、若い方(これから社会を形成する人達)など。 ●人が集まる、駅、スーパーマーケットの出入り口、企業学校などにポスター掲示 ●交流イベントの促進 東海オンエアさんとのコラボ(若い方へ発信が出来る)	御意見のとおり、理解の啓発では、より広く多くの方の目に留まるように周知等を行う必要があると考えています。引き続き、障がい者基本計画の基本目標Ⅰの施策1として必要な取り組みを実施していきます。いただいた御意見は今後の施策の参考にさせていただきます。
8	施策2 学校における福祉、教育の推進 目の見えない、車椅子、喋ることができない体験を、学校、職場などで実施することを、行政として促進することを希望します。幼少期からの体験が差別をなくすと思います。	関係各課及び機関において、引き続き、障がい者基本計画の基本目標Ⅰの施策2として必要な取り組みを実施していきます。いただいた御意見は今後の施策の参考にさせていただきます。

第5次岡崎市障がい者基本計画中間見直し・第7期岡崎市障がい福祉計画・第3期岡崎市障がい児福祉計画(案)の制定に対する意見と市の考え方

※いただいたご意見は趣旨を損なわない程度に要約しています。

No.	意見	市の考え方
9	<p>施策4 手話言語条例</p> <p>ヘルプマークだけでは、ろう者の方とわかりません。ヘルプマークにシールなどで障がいの種類を明確(必要とされる方)した方がいいと感じます。声かけも出来ないと思います。</p>	<p>ヘルプマークは、義足を使用している方、内部障がいの方や難病の方、妊娠初期の方など、外見からは分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなることを目的として作成されたものです。そして、ヘルプマークを身に着けた方が困っている姿を見かけた際には、声をかけるなどの思いやりのある行動をお願いするものです。</p> <p>なお、岡崎市では、氏名や住所などの基本情報のほか、障がいや病気の名前や配慮してほしいことなどを記載できる部分を設けた「岡崎市ヘルプカード」を作成しておりますので、引き続き、配付及び周知に努めます。</p>
10	<p>放課後等デイサービスの質の向上とは具体的にどう提供するか、どう質を向上させるか具体的に書かれていないと進まないと思います。</p>	<p>障がい者基本計画の基本目標Ⅱの施策9、障がい福祉計画の成果目標の1つである「障がい福祉サービス等の質の向上のための体制構築」に記載があるように、岡崎市障がい者自立支援協議会を通して、障がい福祉サービス等に関する情報共有等により、サービスの質の向上に取り組みます。よって、計画は原案どおりとします。</p>
11	<p>施策16 ユニバーサル農業の推進</p> <p>農務課だけでなく福祉施策課との連携が必要に感じます。どういう支援が必要かわからないと思います。</p> <p>例 車椅子で出来るさつま芋掘り(健常者との交流)畑作り</p>	<p>農福連携については、農務課が実施主体でありつつも、必要に応じて障がい福祉課も関わっています。引き続き、障がい者基本計画の基本目標Ⅱの施策16として必要な取り組みを実施してきます。いただいた御意見は今後の施策の参考にさせていただきます。</p>
12	<p>施策19地域防災対策の推進</p> <p>どこが障がい者の特別避難所かわかりません。透析の方、呼吸系の内部障がい者、医療機器使用の電源がいる方に、防災ポータルの中で表示されると分かりやすく感じます。</p> <p>多動症、小さなお子さん障がい者のトイレ問題も大きいので特別避難所の開設が必要だと感じます。</p>	<p>関係各課において、引き続き、障がい者基本計画の基本目標Ⅱの施策19として必要な取り組みを実施していきます。いただいた御意見は今後の施策の参考にさせていただきます。</p>
13	<p>施策20 福祉相談窓口の開設</p> <p>総合窓口のほかに、アプリの開発(相談数減少)</p> <p>例 スマホアプリの開発 全てが一つで分かる・過去の問題がいきる</p> <p>手続き 自動車の申請・諸手当・メンタルヘルス(家族も) (病院で難病の申請)難病かわからず申請できない 防災・難病、医療機器使用の障がい者の特別避難所 過去の相談事・回答例 住宅の相談・回答例など</p>	<p>福祉相談窓口における支援については、ふくし相談課と障がい福祉課で連携し、引き続き、障がい者基本計画の基本目標Ⅲの施策20として必要な取り組みを実施してきます。いただいた御意見は今後の施策の参考にさせていただきます。</p>
14	<p>第4章 8 地域支援事業 p68、69サービスの体系</p> <p>・他市では、ゴミ出しサポート事業(障がい者、高齢者)、 ・家具乾燥、消毒・水洗い事業(寝たきり、常時失禁状態で布団が干せない方に乾燥消毒は年10回、汚れ落とし及び水洗い年1回)</p> <p>岡崎市もこのような支援があると住みやすい環境で地域で過ごせると感じます。</p>	<p>障がい福祉計画の第4章の地域生活支援事業は、障がい児者が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、定められた市町村対象事業の範囲で、地域の特性やサービスの利用者の状況に応じた柔軟な形態により事業を効果的・効率的に実施するものです。よって、いただいた御意見は、地域生活支援事業以外の部分で、今後の施策の参考にさせていただきます。</p>